

〔金沢港大野地区国際物流ターミナル整備事業(防砂堤)〕 費用対便益算出資料 〔様式集〕

1) 事業全体	P 1
便益		
【浚渫費用の削減効果】	P 2
【土砂処分費用の削減効果】	P 2

平成２９年１２月
北陸地方整備局

費用対効果算出資料

便益

【浚渫費用の削減（平成25年度以降）】

- 防砂堤の整備により、航路・泊地への漂砂の流入が抑制されるため、2.0億円/年の浚渫費用が削減できる。

	浚渫土砂量 (m ³ /年)	浚渫単価 (千円/m ³)	浚渫費用 (億円/年)
Without時	131,000	3.1	4.1
With時	67,000	3.1	2.1
浚渫費用の削減効果(億円/年) Without時－With時			2.0

■浚渫単価

- ・平成23年度～平成27年度の浚渫単価の平均の3.1千円/m³と設定

【土砂処分費用の削減（平成25年度から平成29年度まで計上）】

- 防砂堤の整備により、浚渫土の処分場が小規模となるため、94.1億円の土砂処分費用が削減できる。

	浚渫土砂量 (m ³ /年)(A)	総受入浚渫土砂量 (50年×(A))	土砂処分単価 (千円/m ³)	土砂処分費用 (千円)	土砂処分費用 (億円)
Without時	131,000	6,550,000	2.94	19,263,550	192.6
With時	67,000	3,350,000	2.94	9,852,350	98.5
土砂処分費用の削減効果(億円/年) Without時－With時					94.1

■土砂処分単価

- ・近隣の土砂処分場の全体事業費160億円と埋立土量544万m³から2.94千円/m³と設定